



2021年4月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年6月7日

上場会社名 インスペック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理部長 (氏名) 佐藤 真

TEL 0187-54-1888

定時株主総会開催予定日 2021年7月27日

有価証券報告書提出予定日 2021年7月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期の業績(2020年5月1日～2021年4月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	1,273	32.3	277		310		1,195	
2020年4月期	1,881	17.8	149	54.4	212	35.0	173	34.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	315.95		89.2	9.6	21.8
2020年4月期	49.46	48.31	11.2	6.4	8.0

(参考) 持分法投資損益 2021年4月期 百万円 2020年4月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	2,699	904	28.0	199.57
2020年4月期	3,757	2,050	51.3	510.64

(参考) 自己資本 2021年4月期 756百万円 2020年4月期 1,926百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	153	174	36	673
2020年4月期				

(注) 当社は、2020年4月期は連結業績を開示していましたが、当期末より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年4月期の実績は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期		0.00		3.00	3.00	11	6.1	0.7
2021年4月期		0.00		0.00	0.00			
2022年4月期(予想)		0.00		3.00	3.00		6.7	

(注) 当社は、当期末より非連結での業績を開示しておりますので、2020年4月期の配当性向につきましては、非連結での業績を基に算出しております。

3. 2022年4月期の業績予想(2021年5月1日～2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	80.6	80		200		170		44.85

(注) 当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期	3,790,300 株	2020年4月期	3,772,100 株
期末自己株式数	2021年4月期	156 株	2020年4月期	61 株
期中平均株式数	2021年4月期	3,785,381 株	2020年4月期	3,505,259 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、2021年5月28日付「非連結決算への移行に伴う2021年4月期個別業績予想に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の連結子会社であったFirst EIE SA（スイス）株式の全てを譲渡いたしました。これにより、2021年4月期第4四半期累計期間より、従来連結で行っておりました開示を単体開示に変更いたしました。

当事業年度（2020年5月1日～2021年4月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として世界各地で猛威を奮っているものの、欧米など一部の国ではワクチン普及の効果により感染者数は減少傾向に転じており、活動制限は徐々に緩和され始めております。また、アジアにおいても中国は、いち早く新型コロナウイルス感染症拡大を抑え込み、1～3月期は記録的な急成長を遂げております。一方、わが国につきましては、活動制限の緩和や国の景気浮揚政策により一部で経済活動が戻りつつありましたが、首都圏を中心に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が再発出され、さらにはワクチン接種の対応の遅れなどにより、景気回復の遅れが懸念されます。

このような経営環境の中、当社の当事業年度の売上高は1,273百万円（前年同期比32.3%減）、営業損失は277百万円（前年同期は営業利益149百万円）、経常損失は310百万円（前年同期は経常利益212百万円）となりました。当期純損失は、投資有価証券評価損の特別損失計上などにより1,195百万円（前年同期は当期純利益173百万円）となりました。

また、当社は2021年4月12日付で当社の連結子会社であったFirst EIE SA（スイス）株式を譲渡したことにより、当事業年度より連結の範囲から除外し、「半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業」の単一セグメントとなりました。そのため、セグメント別の業績は記載しておりませんが、「半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業」の業績は、以下のとおりであります。

当事業年度におきましては、上半期は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として2020年4月に発出された第1回目の緊急事態宣言後は出張自粛などにより受注活動が一時停滞するなどの影響を受け、また、海外案件におきましては現地での受け入れ態勢が整っていないことなどによる納入遅延が発生いたしました。下半期からは徐々に納入遅延が解消されつつありましたが、依然として続いている海外への渡航制限や上半期の受注活動停滞による影響を受けた結果、当事業年度の売上高は当初計画を下回りました。

当事業年度の受注状況につきましては、前事業年度より進めてまいりました中国企業向けの商談が進展し、ロールtoロール型検査装置の大型受注を獲得しております。また、国内顧客からもフラットベッド型検査装置を中心に受注を獲得するなど、受注額は1,631百万円（前年同期比9.5%増）となり、当事業年度末における受注残高は1,286百万円（前年同期比38.5%増）となりました。好調な中国経済を背景に大型受注を獲得するに至りましたが、今後も継続して受注が獲得できるよう中国市場をはじめ、国内外での営業活動を強化してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産の部は、前事業年度末に比べ1,058百万円減少し、2,699百万円となりました。これは主に、現金及び預金333百万円の減少、仕掛品88百万円の増加、パスイメージング株式会社株式並びにクラーロ株式会社（現社名：パスイメージング株式会社）第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の評価損の計上に伴う投資有価証券505百万円の減少及び子会社株式譲渡に伴う関係会社株式376百万円の減少によるものです。

(負債)

負債の部では、前事業年度末に比べ88百万円増加し、1,795百万円となりました。これは主に、買掛金141百万円の増加、前受金113百万円の減少、短期借入金900百万円の減少及び長期借入金809百万円の増加によるものです。

(純資産)

純資産の部では、前事業年度末に比べ1,146百万円減少し、904百万円となりました。これは主に、資本金18百万円の増加、資本剰余金18百万円の増加及び当期純損失1,195百万円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当事業年度末に比べ363百万円減少し、673百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は153百万円となりました。これは主に、売上債権の増加によるキャッシュ・フローの減少額99百万円、たな卸資産の増加によるキャッシュ・フローの減少額36百万円、仕入債務の増加によるキャッシュ・フローの増加額144百万円、前受金の減少によるキャッシュ・フローの減少額113百万円及び税引前当期純損失1,192百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は174百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出116百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は36百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入21百万円、新株予約権の発行による収入5百万円、短期借入金の純増減額による支出900百万円、長期借入れによる収入1,530百万円及び長期借入金の返済による支出656百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の世界の経済情勢は、新型コロナウイルス変異株による感染症再拡大やワクチン接種の進展状況により实体经济の回復の遅れが強く懸念されます。このような状況の中、当社は、ニーズが拡大しているFPC向けロールtoロール型検査装置、クラウドサーバーの継続的な拡大やAIの急速な進化の対応で微細化が加速しているCPUやGPU向け超精密基板向け検査装置を主力製品として競争力を更に高め、顧客との信頼関係を強固にして事業の拡大に取り組んでまいります。

また、新規事業として取り組んでいるロールtoロール型シームレスレーザー直描露光機については、販売活動の強化策として、当社ホームページを生かしたデジタルマーケティングを活用するなど受注獲得に努めてまいります。

なお、剰余金の配当につきましては、2021年4月26日付「配当予想（期末配当）の修正（無配）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり「無配」とさせていただきます。次期以降の配当につきましては、厳しい経営環境が予想されますが、早期に復配できるよう努めてまいります。

2022年4月期の業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

売上高	2,300百万円（前事業年度は 1,273百万円）
営業利益	80百万円（前事業年度は △277百万円）
経常利益	200百万円（前事業年度は △310百万円）
当期純利益	170百万円（前事業年度は△1,195百万円）

※ 2022年4月期の業績見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想には新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限の影響等さまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があります。

2. 企業集団の状況

当社は、2021年4月12日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の連結子会社であったFirst EIE SA（スイス）株式を譲渡し、当事業年度より連結の範囲から除外しました。これにより、当社グループは、当社（インスペック株式会社）、台湾英視股份有限公司の2社により構成されており、当社グループの事業は、半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業の単一事業となります。

なお、台湾英視股份有限公司につきましては、連結財務諸表に及ぼす影響に重要性が乏しいため、連結の範囲より除外しております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、I F R Sにつきましては、今後も制度動向等を注視してまいります。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,114,631	781,185
受取手形	385	5,830
売掛金	242,902	269,253
電子記録債権	680	68,544
仕掛品	546,201	634,402
原材料及び貯蔵品	140,894	89,643
前渡金	17,001	10,323
前払費用	7,464	6,609
未収消費税等	18,748	2,462
その他	8,725	14,638
貸倒引当金	△904	△58,160
流動資産合計	2,096,731	1,824,733
固定資産		
有形固定資産		
建物	818,447	818,682
減価償却累計額	△325,749	△349,307
建物(純額)	492,697	469,374
構築物	62,464	78,144
減価償却累計額	△47,779	△50,441
構築物(純額)	14,685	27,703
機械及び装置	180,189	248,765
減価償却累計額	△138,503	△157,205
機械及び装置(純額)	41,685	91,560
車両運搬具	1,857	1,857
減価償却累計額	△1,450	△1,566
車両運搬具(純額)	406	290
工具、器具及び備品	43,979	51,185
減価償却累計額	△34,767	△38,849
工具、器具及び備品(純額)	9,212	12,336
リース資産	39,329	43,445
減価償却累計額	△17,529	△23,187
リース資産(純額)	21,799	20,257
土地	92,440	92,440
建設仮勘定	74,440	99,501
有形固定資産合計	747,367	813,463
無形固定資産		
技術使用权	4,916	8,166
ソフトウェア	6,468	24,138
その他	0	0
無形固定資産合計	11,384	32,305
投資その他の資産		
投資有価証券	505,899	0
関係会社株式	378,155	1,684
長期貸付金	—	21,934
その他	17,980	5,177
投資その他の資産合計	902,036	28,796
固定資産合計	1,660,789	874,565
資産合計	3,757,520	2,699,298

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	71,484	74,505
買掛金	17,830	159,387
短期借入金	900,000	—
1年内返済予定の長期借入金	130,810	195,688
未払金	8,450	33,039
未払費用	15,496	8,765
未払法人税等	5,919	6,554
前受金	136,224	23,094
預り金	7,501	8,321
リース債務	5,316	5,325
製品保証引当金	5,094	1,369
賞与引当金	21,866	—
役員賞与引当金	5,000	—
未払配当金	—	167
流動負債合計	1,330,994	516,217
固定負債		
長期借入金	325,590	1,134,702
長期未払金	—	96,739
繰延税金負債	31,356	30,312
リース債務	18,390	16,762
資産除去債務	309	311
固定負債合計	375,647	1,278,828
負債合計	1,706,641	1,795,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,122,075	1,140,959
資本剰余金		
資本準備金	636,675	655,558
資本剰余金合計	636,675	655,558
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	73,336	70,903
別途積立金	8,000	8,000
繰越利益剰余金	86,188	△1,118,668
利益剰余金合計	167,524	△1,039,764
自己株式	△106	△372
株主資本合計	1,926,168	756,380
新株予約権	124,710	147,871
純資産合計	2,050,879	904,252
負債純資産合計	3,757,520	2,699,298

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	1,881,080	1,273,820
売上原価		
当期製品製造原価	1,137,406	816,658
売上総利益	743,673	457,162
販売費及び一般管理費		
役員報酬	29,245	43,519
給料及び手当	98,855	90,669
貸倒引当金繰入額	△346	57,318
賞与引当金繰入額	9,538	—
役員賞与引当金繰入額	5,000	—
退職給付費用	1,364	114,626
減価償却費	18,321	11,892
旅費及び交通費	18,181	12,810
研究開発費	146,016	179,542
支払手数料	28,932	36,306
その他	238,955	188,257
販売費及び一般管理費合計	594,064	734,943
営業利益又は営業損失 (△)	149,608	△277,780
営業外収益		
受取利息	165	399
補助金収入	73,944	4,602
業務受託手数料	6,140	5,905
為替差益	—	3,643
雑収入	—	2,552
その他	2,199	1,363
営業外収益合計	82,450	18,467
営業外費用		
支払利息	13,546	19,912
手形売却損	87	904
株式交付費	1,020	8,643
シンジケートローン手数料	4,107	20,011
その他	1,296	2,143
営業外費用合計	20,057	51,616
経常利益又は経常損失 (△)	212,001	△310,929
特別利益		
固定資産売却益	189	—
特別利益合計	189	—
特別損失		
固定資産除却損	14	0
投資有価証券評価損	—	881,847
特別損失合計	14	881,847
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	212,176	△1,192,777
法人税、住民税及び事業税	23,528	4,239
法人税等調整額	15,278	△1,044
法人税等合計	38,806	3,195
当期純利益又は当期純損失 (△)	173,370	△1,195,973

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	825,450	340,049	340,049	37,536	8,000	△51,382
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩				△1,773		1,773
固定資産圧縮積立金の積立				37,572		△37,572
新株の発行 (新株予約権の行使)	296,625	296,625	296,625			
剰余金の配当						
当期純利益						173,370
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	296,625	296,625	296,625	35,799	—	137,570
当期末残高	1,122,075	636,675	636,675	73,336	8,000	86,188

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
	利益剰余金合計				
当期首残高	△5,845	△41	1,159,613	94,206	1,253,819
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—		—
固定資産圧縮積立金の積立	—		—		—
新株の発行 (新株予約権の行使)			593,251		593,251
剰余金の配当	—		—		—
当期純利益	173,370		173,370		173,370
自己株式の取得		△65	△65		△65
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)				30,504	30,504
当期変動額合計	173,370	△65	766,555	30,504	797,059
当期末残高	167,524	△106	1,926,168	124,710	2,050,879

当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	1,122,075	636,675	636,675	73,336	8,000	86,188
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩				△2,432		2,432
固定資産圧縮積立金の積立						
新株の発行 (新株予約権の行使)	18,883	18,883	18,883			
剰余金の配当						△11,316
当期純利益						△1,195,973
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	18,883	18,883	18,883	△2,432	—	△1,204,856
当期末残高	1,140,959	655,558	655,558	70,903	8,000	△1,118,668

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
	利益剰余金合計				
当期首残高	167,524	△106	1,926,168	124,710	2,050,879
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—		—
固定資産圧縮積立金の積立	—		—		—
新株の発行 (新株予約権の行使)			37,766		37,766
剰余金の配当	△11,316		△11,316		△11,316
当期純利益	△1,195,973		△1,195,973		△1,195,973
自己株式の取得		△265	△265		△265
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)				23,160	23,160
当期変動額合計	△1,207,289	△265	△1,169,788	23,160	△1,146,627
当期末残高	△1,039,764	△372	756,380	147,871	904,252

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純損失 (△)	△1,192,777
減価償却費	65,084
株式報酬費用	25,312
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	57,255
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3,725
支払利息	19,912
シンジケートローン手数料	20,011
株式交付費	8,643
受取利息及び受取配当金	△399
業務受託料	△5,905
雑収入	△2,552
補助金収入	△4,602
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	881,847
売上債権の増減額 (△は増加)	△99,660
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	144,577
未払金の増減額 (△は減少)	23,539
前受金の増減額 (△は減少)	△113,129
その他	80,957
小計	△132,560
利息及び配当金の受取額	△13
業務受託料の受取額	5,905
補助金の受取額	4,602
利息の支払額	△20,782
法人税等の支払額	△10,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	△153,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△116,066
無形固定資産の取得による支出	△30,456
関係会社株式の売却による収入	522
定期預金の預入による支出	△30,004
その他	1,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	21,669
新株予約権の発行による収入	5,301
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△900,000
長期借入れによる収入	1,530,000
長期借入金の返済による支出	△656,010
シンジケートローン手数料の支払額	△20,011
リース債務の返済による支出	△6,146
配当金の支払額	△11,148
その他	△265
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,667
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△363,450
現金及び現金同等物の期首残高	1,036,629
現金及び現金同等物の期末残高	673,179

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社が有している関係会社である台湾英視股份有限公司は、利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性が乏しい非連結子会社であるため、記載を省略しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、2020年4月期は連結業績を開示しておりましたが、当事業年度より非連結での業績を開示しております。そのため、前事業年度のセグメント情報は記載しておりません。

また、当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額	510.64円	199.57円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失（△）	49.46円	△315.95円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	48.31円	—

（注） 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
純資産の部の合計額（千円）	2,050,879	904,252
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	124,710	147,871
（うち新株予約権（千円））	(124,710)	(147,871)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,926,168	756,380
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数（株）	3,772,039	3,790,144

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	173,370	△1,195,973
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 又は当期純損失(△) (千円)	173,370	△1,195,973
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,505,259	3,785,381
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	83,593	—
(うち新株予約権 (株))	(83,593)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。